

ヒナウチワカエデ

Acer tenuifolium Koidzumi

Order Sapindales, Family Sapindaceae, Subfamily Hippocastanoideae

九州～近畿地方では高所に自生する。水分は欲しがる。樹形は直立、8mにもなる。先の枝は細く重鋸歯で葉質は薄い。葉形は、ヤマモミジ、オオイタヤマゲツの小さい葉と見間違ふことがある。果実はつきにくいのか、採取できる機会が少ない。園芸種は葉形と秋の紅葉で選ばれているが、斑入りは見ない。栽培すると夏の暑さで、葉を巻くことがある。秋まで持たせると綺麗な紅葉が楽しめる。

Genus *Acer* The essential 1000 genera certification C Level

カエデ属：イロハモミジ、イタヤカエデ



Chiba University Graduate School of

Horticulture 2025-01-17

Name ID: 6659

